



～ 3密を避けましょう ～

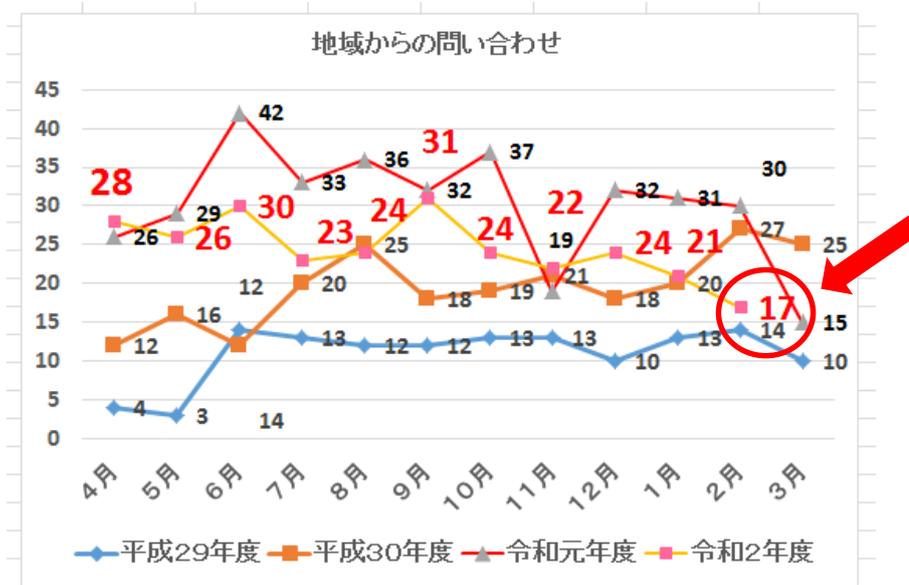
発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design第59号です。令和3年2月の問い合わせ状況の報告、老健やましろからのお知らせなどを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

令和3年2月の問い合わせ状況について

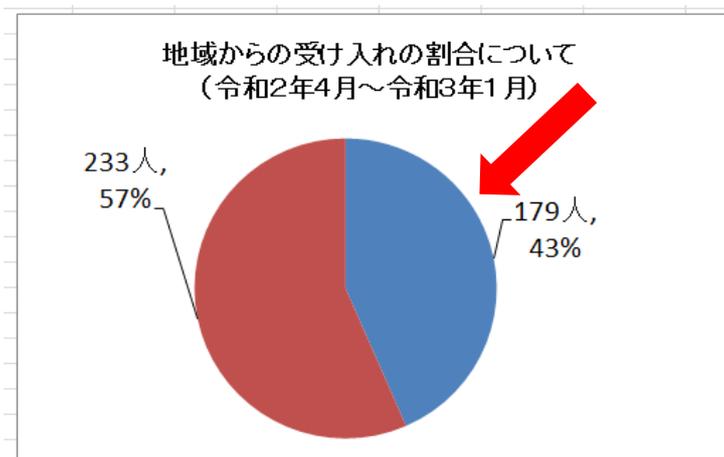
～ ゴールデンウィークも受け入れさせていただきます ～

令和3年2月、地域の皆様から、17件の問い合わせを頂戴しました。お気軽にお問い合わせを頂きますようお願いいたします。主介護者の急な入院に伴う要介護者の入院のご依頼が増えています。



地域医療連携室より

～ 地域からの受け入れの割合について ～



令和2年4月～令和3年1月までの集計ですが、地域の皆様からのご紹介により、当院地域包括ケア病棟“彩り”に直接入院された患者さんは179名、全体の43%です。

引き続き地域からの受け入れに力を入れてまいりますので、よろしくお願いいたします。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）

老健やましろより

～ 節分の豆まきをしました ～



今年の節分は2月2日でした。地球の公転周期の関係で日にちが変わることがあり、今年は124年ぶりに2月2日が節分になったそうです。

老健やましろでは、3人の鬼と、何故か金太郎が登場。各フロアを練り歩き、利用者様が鬼に向かって豆まきをされました。今年は、例年と違い、鬼もマスク姿でしたが、利用者様は必死になって豆に見立てたカラーボールを鬼に向かって投げつけていました。中には、椅子から立ち上がり、腕を振りかぶって鬼をめがけてボールを投げつける利用者様もおられ、大変な盛り上がりとなりました。

節分の豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式で、宮中で行われていた「追儺（ついな）」という鬼払いの儀式が広まったものとされています。鬼とともに、新型コロナウイルスも早く退散してくれますように。

*

私がこのデザインの作成に初めて参加させていただいてから2年半が経ちます。老健での出来事や、私自身が感じたことなどを取り留めもなく書かせていただいているのですが、これまでに何度か、思いがけない方々から暖かい声を掛けていただき、大変ありがたく、そして嬉しく思います。これからも地域の皆様とのつながりを大切に頑張っていければと思います。

(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

老健やましろに、新しい仲間が加わっています

～ これからお会いする方々とのご縁を大切に ～



老健やましろに支援相談員として令和3年1月に入職した佐藤です。入職後2か月経りましたが、土地柄の事など分からない事も多く、先輩方に教えていただいている毎日です。

3世代同居で両親共働き、小さい頃から祖父母に育ててもらった私は生粋のじじばばっ子です。祖母は4年前に亡くなりましたが、祖父は元気に暮らしています。「米寿の祝いに家族旅行がしたい」という祖父の希望は、新型コロナの影響で残念ながらしばらく延期になりそうです。

私はこれまで地域包括支援センター、デイサービス、老健、医療機関の地域医療連携室で勤務してきました。デイサービス職員だった頃にいただいたご家族からの手紙を、今でも大事にお守りにしています。

これからお会いする方々とのご縁も大切にしていきたいです。地域の皆様に寄り添った支援ができるよう、精進しますので宜しくお願い致します。(老健やましろ 支援相談員 佐藤 香苗)